

## ガス全面自由化の影響を 探る

### 高崎市ガス事業(協)

高崎市ガス事業協同組合(小林均理事長)は、3月8日、高崎市・ニューサンピアにおいて「LPGガス及びエネルギー業界の課題と今後の展望」をテーマに講習会を開催した。講師は、株式会社伊藤リサーチ・アンド・アドバイザー代表取締役・伊藤敏憲氏。

伊藤氏は、本年4月からの都市ガスの小売全面自由化により、セツト販売の動きが今後益々加速すると指摘。その上で「セツト販売における最大のポイントは顧客に窓口として選ばれることであり、家庭から『ガス屋さん』と呼ばれ親しまれているLPGガス事業者は、窓口になれる可能性が十分にあ

る」と述べた。窓口として顧客から選ばれるには、まず第一に自分達は「小売業」ではなく、「サービス業」であるとの意識を持つ必要があると訴えた上で、①顧客との関係強化、②価格対応の上限設定、③強みを活かせる分野での事業展開、④同業者の批判はしない等の具体的な取組について提案を行った。



講師の伊藤氏

## 最新の浄化槽の構造を学ぶ

### 伊勢崎市浄化槽清掃事業(協)

伊勢崎市浄化槽清掃事業協同組合(岩崎恵美子理事長)は、3月10日、伊勢崎市・伊勢崎市文化会

館において「最新の浄化槽について」をテーマに、公益財団法人日本環境整備教育センター調査・研究第1チームリーダーの櫛田陽明氏による講習会を行った。



実例を交えた解説

講習会では、浄化槽清掃実務者に対し、スクリーンに投影した浄化槽の内部写真、構造図を随時参照しながら最新の「性能評価型浄化槽」の構造概要、清掃方法、保守点検を行う際のポイントについて解説を行った。

## 決算書の読み方・ 活かし方について学ぶ

### 高崎電気工事(協)

高崎電気工事協同組合(戸田雅夫理事長)は、3月17日、高崎市・

組合会議室において「決算書の読み方・活かし方」をテーマに講習会を開催した。講師は、有限会社中田計理事務所代表取締役・齋藤仁志氏。

齋藤氏は、会計の語源が「説明すること」であることを紹介し、経営者は利害関係者に対して企業の財政状態と経営成績を説明する責任があると指摘。また、経営者が説明責任を果たすためには、企業会計への理解は不可欠であり、経営者が企業会計を理解することで企業の体質強化を図ることも可能になると解説。最後に「会計は難しいからと敬遠せず、会計を武器に企業を強くして欲しい」と締めくくった。



講師の齋藤氏